

令和 7 年度水産基盤整備調査委託事業
「課題 01 漁港施設等活用事業の促進に向けた情
報共有・実証調査」

報 告 書

令和 7 年 9 月

水産庁 漁港漁場整備部

受託者：一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所

目次

a	調査課題名	4
b	実施機関及び担当者.....	4
c	ねらい	4
d	調査概要	5
e	結果	10
①	海業の魅力や効果を分かりやすく伝えるコンテンツのツール（ポストカード、ポスター等）の作成	10
②	上記のツールの適切な設置・施工	12
③	来場者の見学・体験風景等の電子媒体等での記録	17
④	ブース来場者へのアンケート等での調査	18

a 調査課題名

令和7年度水産基盤整備調査委託事業

「課題01 漁港施設等活用事業の促進に向けた情報共有・実証調査」

b 実施機関及び担当者

一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所

伊藤 靖、林 浩志、竹山 佳奈、海老原 碧、成田 伊沙哉、後藤 卓治

c ねらい

令和4年3月に閣議決定された水産基本計画及び漁港漁場整備長期計画において、漁港と地域資源を最大限に活かした海業等の振興が位置付けられ、漁港漁場整備長期計画に係る重点課題の1つ『海業』振興と多様な人材の活躍による漁村の魅力と所得の向上」の成果目標として、令和8年度末までに漁港における新たな海業等の取組をおおむね500件展開することを掲げている。

これにあたり、改正漁港漁場整備法（令和6年4月施行）では、漁港において海業に取り組みやすくする仕組みとして「漁港施設等活用事業」を創設しており、当該制度を活用して漁業上の利用を前提としつつも、漁港の多様な利活用を効率的かつ効果的に促進するために必要な取組・環境等について更なる検討が必要となっている。

その一環として、我が国の海業の取組を、国内だけではなく国際発信することで世界的な認知度を向上させることや、増加するインバウンド需要を漁村地域に取り込むことで、さらなる地域のにぎわいや所得と雇用の創出が期待され、漁港の活用とともに、海業の国際展開につなげる好循環の構築や水産物の輸出促進等の効果も期待される。

そこで、海業の魅力や効果を分かりやすく伝えるコンテンツを、国際博覧会等の大規模イベントにおいて実証し、その効果を検証することが必要である。

d 調査概要

ア 調査事項

- ① 海業の魅力や効果を分かりやすく伝えるコンテンツのツール（ポストカード、ポスター等）の作成
- ② 上記のツールの適切な設置・施工
- ③ 来場者の見学・体験風景等の電子媒体等での記録
- ④ ブース来場者へのアンケート等での調査

イ 調査フロー

調査全体フローは図 1 に示す通りである。

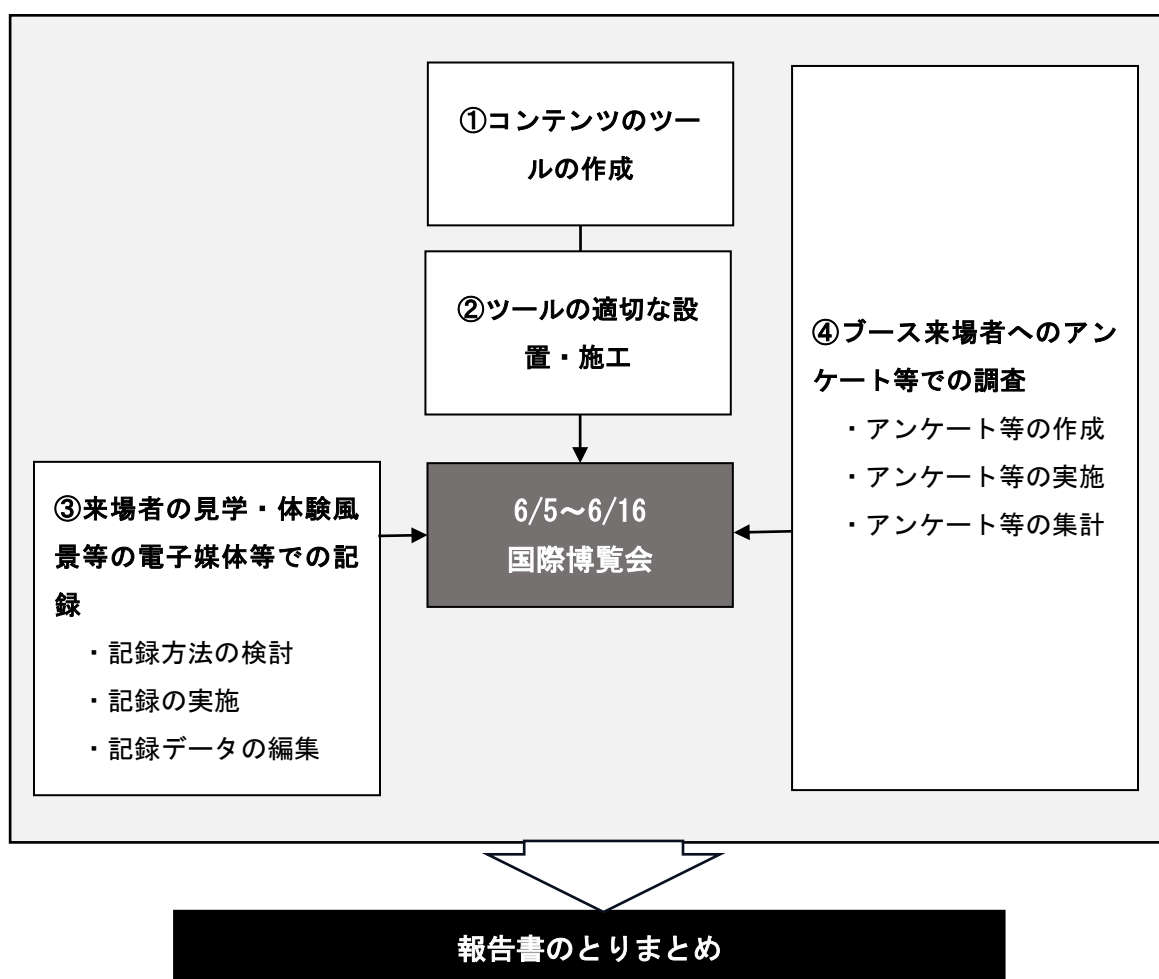


図 1 調査フロー図

ウ 調査の内容

令和6年度水産基盤整備調査事業「海業振興のための国際情報発信手法検討調査」において試行した海業の国際情報発信の手法及び情報発信ツールや、「漁港の利活用に係る技術的検討調査」において試行した海業の魅力や効果を分かりやすく伝えるコンテンツについて、ツールの作成や展示、調査を行い、国際博覧会にてその効果を実証・検証した。

① 海業の魅力や効果を分かりやすく伝えるコンテンツのツール（ポストカード、ポスター等）の作成

作成するツールについては、前述調査を基にしたポストカード、ポスター等とし、詳細については監督職員と協議の上、実施した。ポストカードは、多様な海業のイメージを表現できるよう、複数のデザインパターンを制作した。なお、ポストカードやポスター等のデザインについては、コンテンツ制作者と協議をし、決定をした。海業の魅力や効果をわかりやすく伝えるコンテンツについては、広く普及できるようにポスターやポストカード等のツールに QR コード等を追加し、デジタル配布できるような工夫をした。

② 上記のツールの適切な設置・施工

作成したポストカードやポスター等は準備日までに制作できるようにスケジュールを管理し、設置・施工に関しても、準備期間および撤収日を厳守した。

なお、展示ブースなど全体計画を担っている企業と連携をし、隣接するブースとの調整や連携を誘発し、展示の効果を最大化することも検討をした。

■ ターゲット

- ・ 老若男女問わず、様々な世代やその家族
- ・ インバウンド需要が高まる世情を踏まえ、国内だけでなく国外層への訴求も視野に入れた。

■ 展示イメージ

水産業関係者だけでなく一般消費者含め、様々な世代・国の来場者が来訪すると予想した。そのため、海業及び漁村・魚食について、我が国での取り組みや特徴をイラストや図などを用いて、＜誰もが・分かりやすく理解醸成できる構成＞が必須となる。大きく 4 つの ZONE に区切り、来場者がテーマ浸透できる展示設計を検討した（図 2、図 3）。

■ 展示レイアウト

レイアウトに関しては、来場者がスムーズに出入り・移動できる動線が重要と考えた。そのため、出入り口に関しては、大人が約 3 人程度通れる広さとし、我が国における海業の概要から漁村・魚食について順を追って理解を深めてもらう導線とすることで、来場者の理解促進を促しながら、パネル関係は壁面を活用することで、どの導線もユニバーサル視点も考慮した通路幅（1,200mm 程度※1）を確保した設計とし、車椅子利用者等でも展示が見やすいように、展示高さ（机等の高さ）にも配慮した。さらに、大阪・関西万博の展示に係る各種ガイドライン（「ユニバーサルサービスガイドライン」（2023 年 7 月版（日本国際博覧会 協会））、「多言語対応ガイドライン」（2023 年 7 月版（日本国際博覧会協会））などに留意したものとした。なお、監督職員と協議の上、展示デザインが確定した後、各種図面（平面図・立面図）等を作成した。

※1：車いすの方でも余裕を持って鑑賞できる通路幅

- ・ ZONE1～2 へ海業の概要から漁村・魚食についてまで順を追って理解を深めて

もらう導線設計

- ・ 導線設計の中で漫画コンテンツや箱眼鏡体験などにより更に理解を深めてもらう配置
- ・ 漫画展示や箱眼鏡体験は、導線混雑を調整できるように来場導線側から観覧できる向きで設置
- ・ パネル展示類は全て壁面を活用し、導線幅を十分確保
- ・ メイン通路沿いに、漫画コンテンツや箱眼鏡体験を手前に設置することで、数多くあるブースの中で、どんなブースなのか興味をもって立ち寄ってもらえる配置

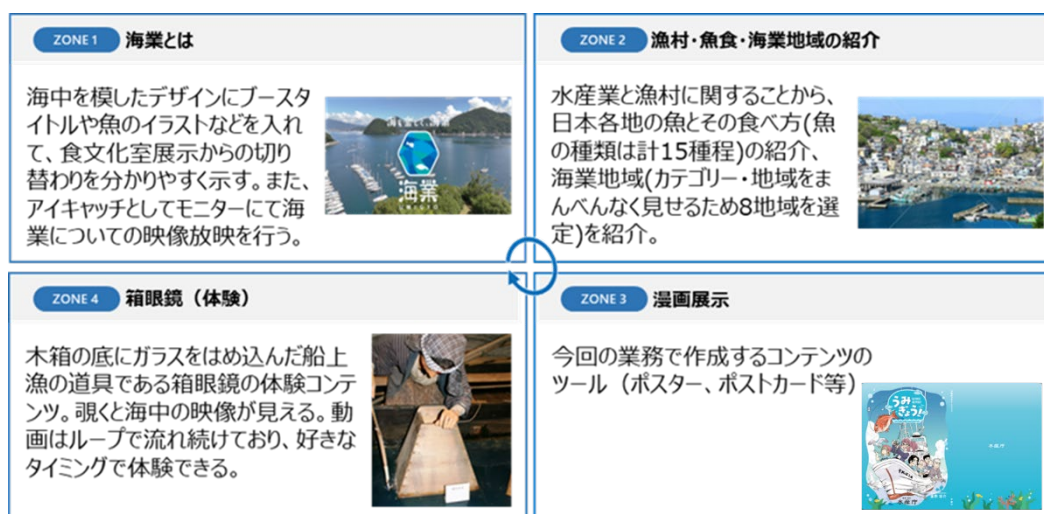


図 2 ZONE 分けイメージ

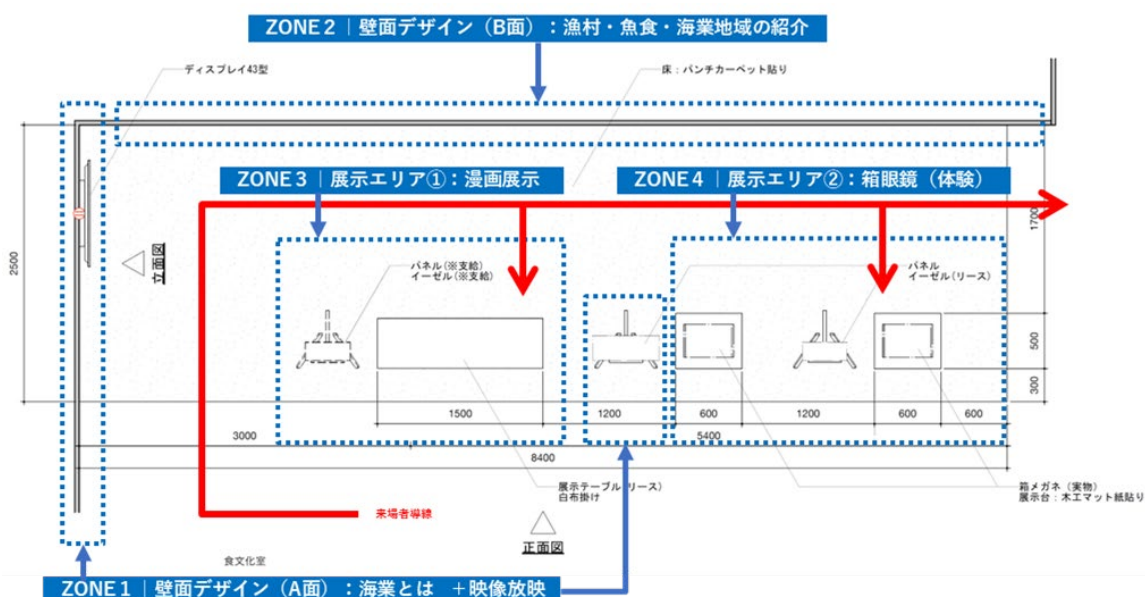


図 3 展示イメージ

■ 備品・設備等のイメージ

本展示の設営にあたっての展示配置・備品設置は以下を想定。

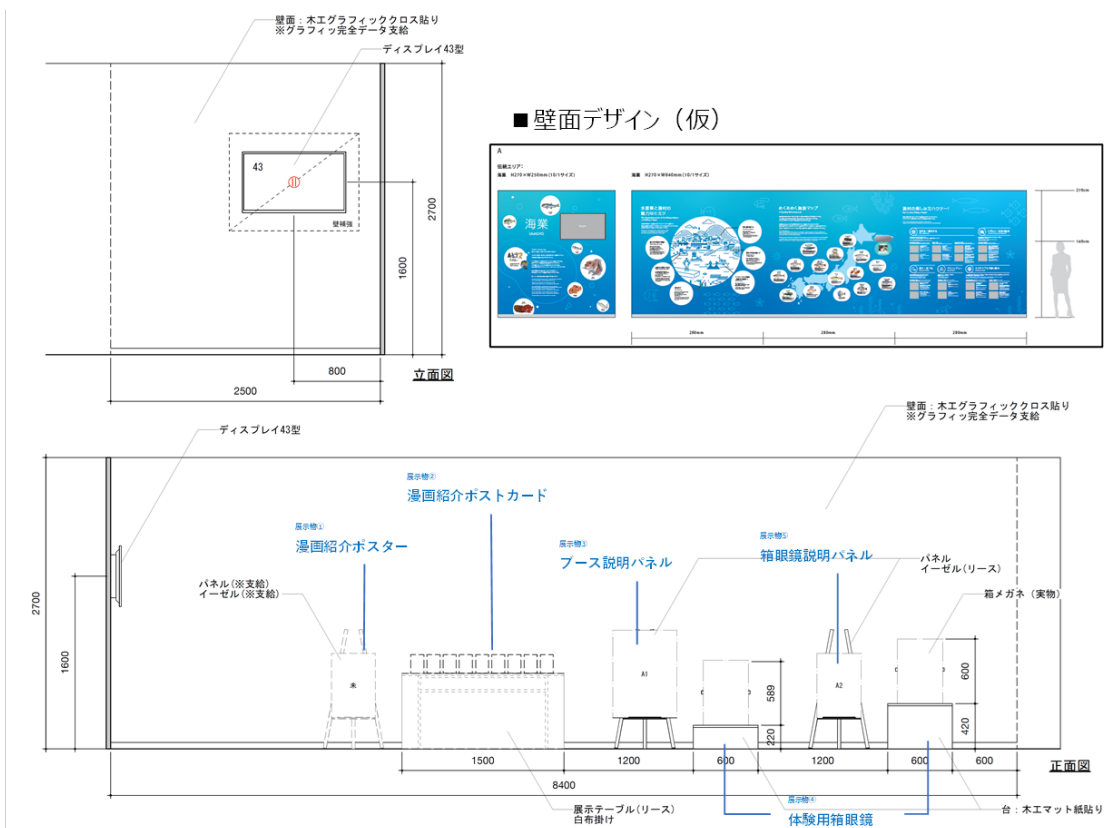


図 4 備品・設備等の展示イメージ

■ 設営および撤去の留意事項

＜事前調整＞

- ・ 展示物について、設置・施工業者及び、展示ブース全体を取りまとめる関係者等と搬入、配置及び撤収等の事前調整を行い、設営及び撤去については全体ガイドラインを参考とした。
- ・ 監督職員や協力機関と定期的な連絡を取り、円滑な情報連携を図った。

＜設営＞

- ・ 本事業の展示内容に基づき、壁面・パネル等の設置を含めた装飾等を行った。
- ・ 借用展示品の搬入運搬においては十分に注意を行った。
- ・ ユニバーサル、バリアフリーの視点などを考慮の上、配置を行った。
- ・ 展示にあたり副資材など準備し、補修が必要な場合には適宜対応を行った。

＜撤収＞

- ・ 展示期間中における装飾の維持をし、展示期間終了後の撤収を行った。
- ・ 借用展示品などは関連事業者と事前に返却スケジュールの調整を行った。
- ・ 借用展示品の搬出運搬においては十分に注意を行った。

③ 来場者の見学・体験風景等の電子媒体等での記録

展示期間中は来場者の見学・体験風景等を電子媒体等で記録した。記録方法は、ビデオカメラやデジタルカメラ等を活用することを想定し、記録したデータを後から見返しができるように、作成したツールごとにデータの整理を行った。

また、来場者が特定できないような撮影方法を考慮し、顔など個人が特定できる場合は個人情報に関する承諾を得た。

④ ブース来場者へのアンケート等での調査

ブース来場者に対して、アンケート等により調査し、展示内容に関する意見等を整理した。

【内容】

アンケート調査内容については、コンテンツを見て・体験して、海業の魅力や効果がどのように伝わったのか把握できるような項目や、インバウンドや年齢層、業界などの多様な属性を結果で整理できるように項目を設定した。また、インバウンドに対するアンケートも想定し、「多言語対応ガイドライン」(2023 年 7 月版 (日本国際博覧会協会))等に留意をし、英語版でも作成した。日本語版においては法務省で公開している「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」を参照とし、やさしい日本語の自動判断ツールを活用し、総合判定 A となるようにアンケートの設問を作成した。なお、食文化室及び TOPPAN から各ブースで実施するアンケートについて「各ブースに関することに限り 3 問以内」で実施可能と連絡を受けたことから、水産庁と協議の上、アンケート項目を変更した。

(アンケート項目案)

- ・ 設問 1：楽しかった展示エリアを選んでください
- ・ 設問 2：これまで経験したことのある海業の体験を選んでください
- ・ 設問 3：興味を持った海業の体験を選んでください

【方法】

気軽に答えられるよう、ペーパーレスでも対応できる QR コード等を活用した Web アンケートフォームの作成を想定した。アンケート調査結果のとりまとめについては、回答者の属性ごとに分類をし、整理をした。アンケート調査結果をもとに、作成したコンテンツが海業の魅力や効果をきちんと伝えることができたのか効果を検証した。

e 結果

① 海業の魅力や効果を分かりやすく伝えるコンテンツのツール（ポストカード、ポスター等）の作成

■ 調査方法

作成するツールについては、前述調査を基にしたポストカード、ポスター等とし、詳細については監督職員と協議の上、実施した。ポストカードは、多様な海業のイメージを表現できるよう、複数のデザインパターンを制作した。なお、ポストカードやポスター等のデザインについては、コンテンツ制作者と協議をし、決定をした。海業の魅力や効果をわかりやすく伝えるコンテンツについては、広く普及できるようにポスターやポストカード等のツールに QR コード等を追加し、デジタル配布できるような工夫をした。

■ 目的と対象

来場者を対象とし、国内だけではなく国際発信することで世界的な認知度を向上させるため、海業の魅力や効果を分かりやすく伝えるコンテンツ作成し、配布する。

■ 制作体制

水産庁指導の下、Acky Bright 氏および漫画家（葉野宗介氏（はのそうすけ））とポストカード、ポスターの制作を行った。なお、各工程の前後に水産庁と制作者サイドで協議をおこない、手戻りのないように進めた。

■ 成果物

より広く普及できるように絵柄の異なる 3 種類のポストカード（図 5）を 3,000 部（3 種類×1,000 部）制作し、全て配布した。

ポスターについては、10 部制作した。

海業を推進し漁港の魅力を伝えるためのマスコットキャラ 3 体のアクリルスタンドを作成した。

海業ブース全体の色調に合わせたテーブルクロスを 1 部作成した。

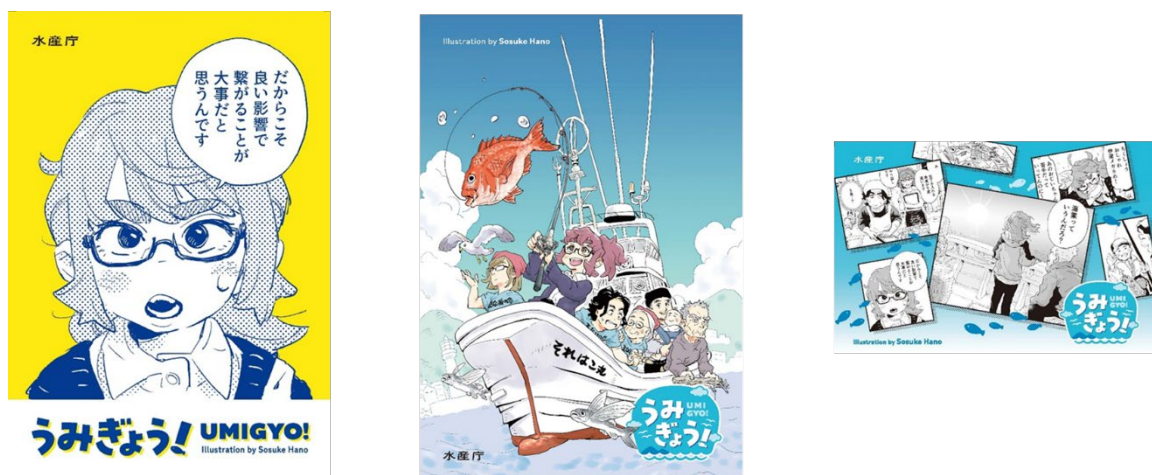


図 5 ポストカードデザイン

■ コンテンツの効果

ポストカードの配布効果の検証として、海業マンガのホームページアクセス数について表1のとおり整理をした。

5月の海業マンガについてのホームページアクセス数が日本語866件、英語171件に対して、大阪・関西万博に出展した6月の海業マンガについてのホームページアクセス数が日本語2841件、英語392件と5月のアクセス数に比べて、日本語では約3.2倍、英語では約2.3倍とアクセス数が伸びる結果となった。

表1 海業マンガについてのアクセス数の推移

	令和7年 5月	令和7年 6月
海業マンガについて(日本語)	866	2841
海業マンガについて(英語)	171	392

② 上記のツールの適切な設置・施工

■ 調査方法

作成したポストカードやポスター等は準備日までに制作できるようにスケジュールを管理し、設置・施工に関しても、準備期間および撤収日を厳守した。

なお、展示ブースなど全体計画を担っている企業と連携をし、隣接するブースとの調整や連携を誘発し、展示の効果を最大化することも検討をした。

■ ターゲット

- ・ 老若男女問わず、様々な世代やその家族
- ・ インバウンド需要が高まる世情を踏まえ、国内だけでなく国外層への訴求も視野に入れた。

■ 展示イメージ

水産業関係者だけでなく一般消費者含め、様々な世代・国の来場者が来訪すると予想した。そのため、海業及び漁村・魚食について、我が国での取り組みや特徴をイラストや図などを用いて、＜誰もが・分かりやすく理解醸成できる構成＞が必須となる。大きく 4 つの ZONE に区切り、来場者がテーマ浸透できる展示設計を検討した（図 6、図 7）。

■ 展示レイアウト

レイアウトに関しては、隣接するブースの展示レイアウト状況を考慮し、来場者がスムーズに出入り・移動できる動線に変更を行った。出入り口に関しては、大人が約 3 人程度通れる広さとした。漫画展示を正面に配置し、タブレットを用いて海業マンガを紹介・来場者へのポストカードの配布を行い。来場者の興味を引き付け、出入り口に誘導し、海業の概要から漁村・魚食について順を追って理解を深めてもらう導線とすることで、来場者の理解促進を促しながら、パネル関係は壁面を活用することで、どの導線もユニバーサルの視点も考慮した通路幅（1,200mm 程度※¹）を確保した設計とし、車椅子利用者等でも展示が見やすいように、展示高さ（机等の高さ）にも配慮した。さらに、大阪・関西万博の展示に係る各種ガイドライン（「ユニバーサルサービスガイドライン」（2023 年 7 月版（日本国際博覧会 協会））、「多言語対応ガイドライン」（2023 年 7 月版（日本国際博覧会協会））などに留意したものとした（図 8、図 9）。

※¹：車いすの方でも余裕を持って鑑賞できる通路幅

- ・ 導線設計の中で漫画コンテンツや箱眼鏡体験などにより更に理解を深めてもらう配置
- ・ 漫画展示や箱眼鏡体験は、導線混雑を調整できるよう来場導線側から観覧できる向きで設置
- ・ パネル展示類は全て壁面を活用し、導線幅を十分確保
- ・ メイン通路沿いに、漫画コンテンツや箱眼鏡体験を手前に設置することで、数多くあるブースの中で、どんなブースなのか興味をもって立ち寄ってもらえる配置

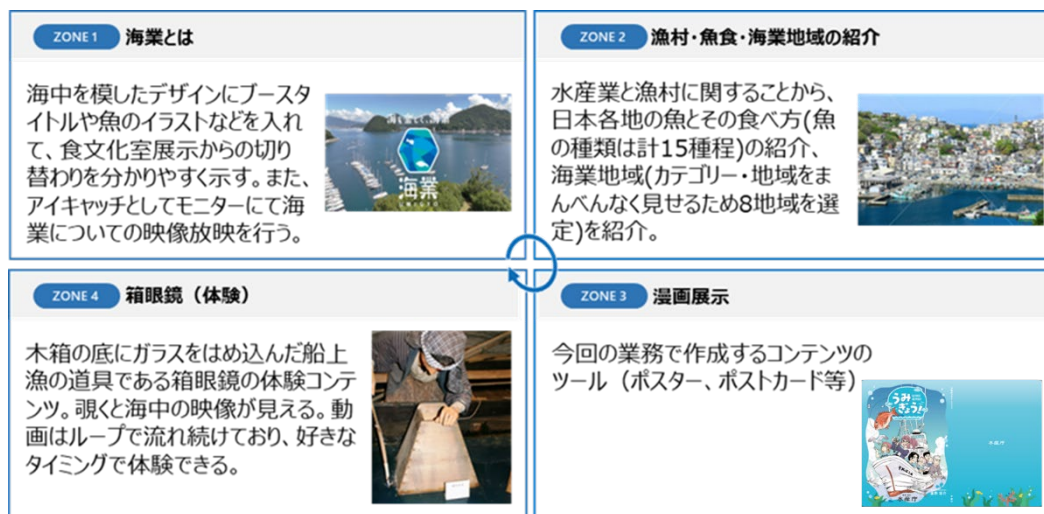


図 6 ZONE 分けイメージ

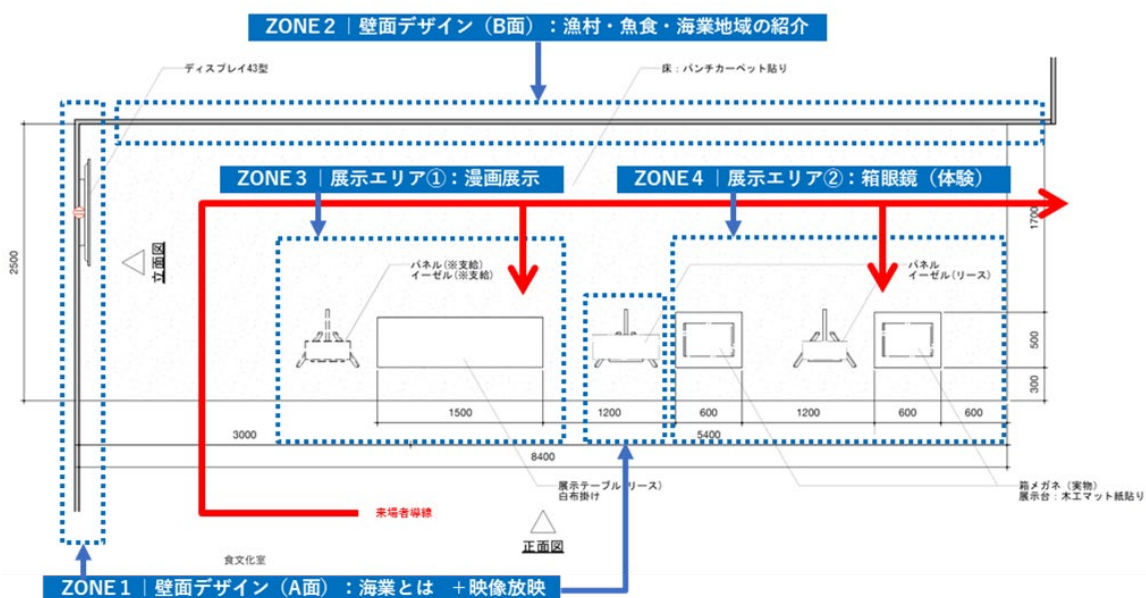


図 7 展示イメージ

【1】ブースレイアウト

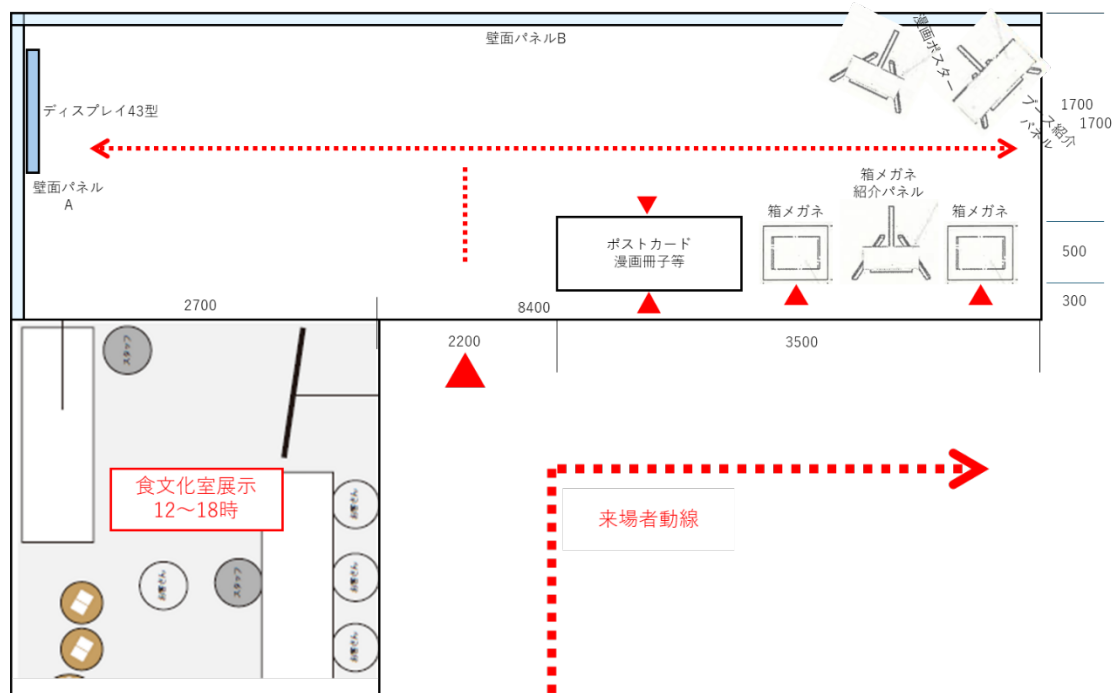


図8 展示ブースレイアウト



図9 展示ブースレイアウト状況

■ 備品・設備等のイメージ

本展示の設営にあたって、隣接するブースの展示レイアウトを考慮し、展示配置・備品配置の調整を行った（図 10、図 11）。

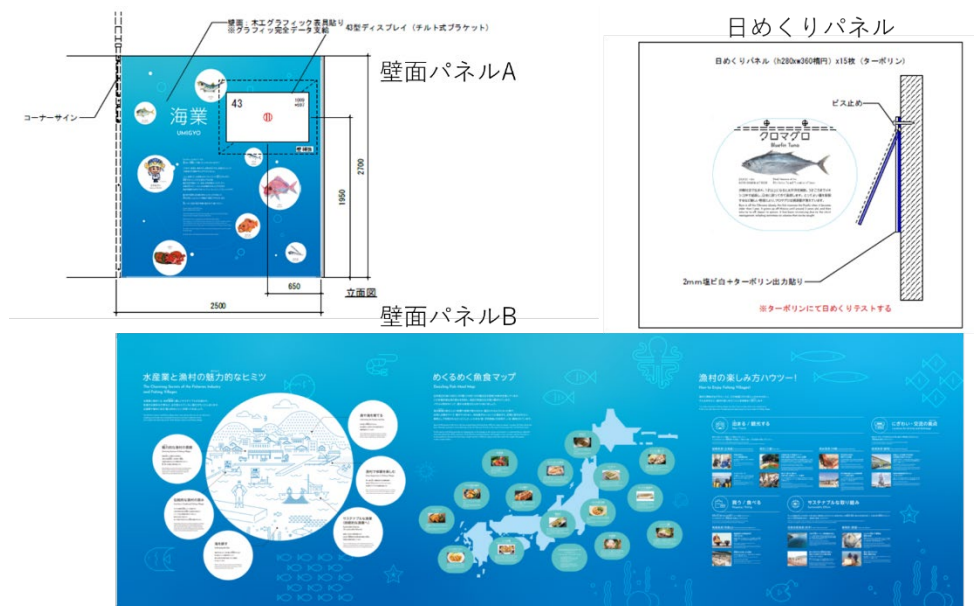


図 10 備品・設備等の展示イメージ

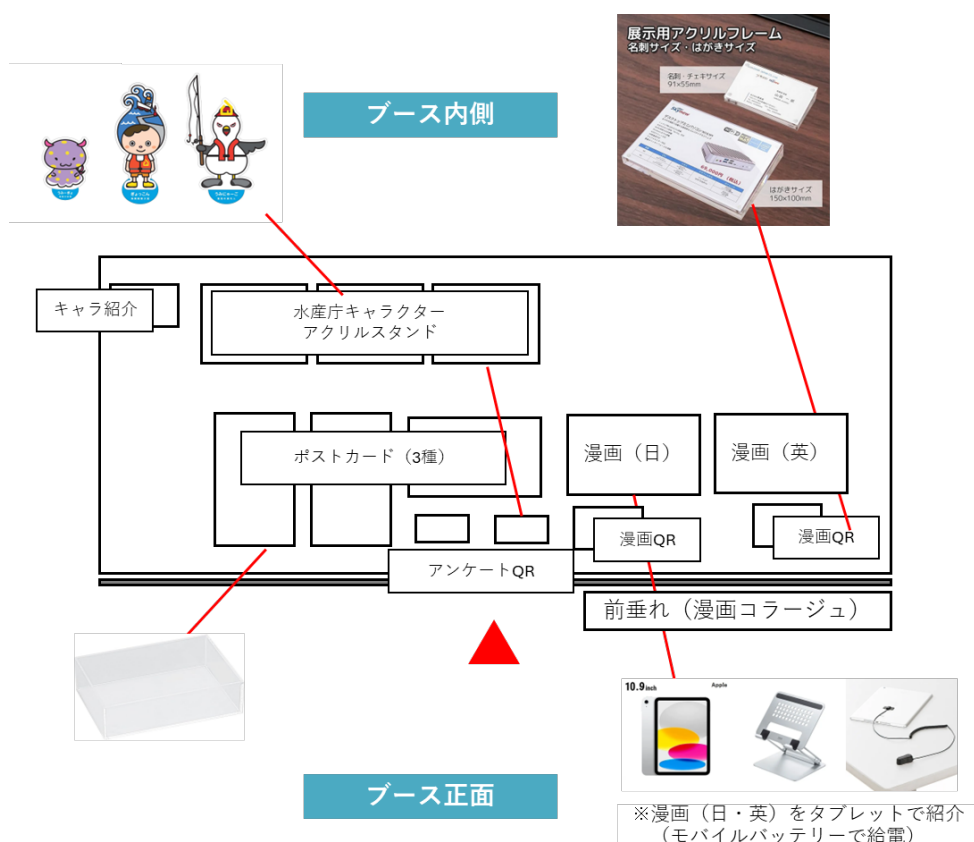


図 11 漫画展示レイアウトイメージ

■ 設営および撤去

株式会社 TOPPAN が作成した出展ガイドラインを事業者に対して周知徹底を行い、トラブルなく設営及び撤去を実施した。

■ 担当者マニュアルの作成

本展示の運営にあたって、トラブル発生時の連絡体制及び緊急連絡網等を記載した海業ブースにおける担当者マニュアル及び緊急事態が起こった際の担当者間での引継ぎツールとして、トラブル対応報告書を作成した。

担当者マニュアルに従い、トラブルなく運営を実施した。

③ 来場者の見学・体験風景等の電子媒体等での記録

■ 調査方法

展示期間中は来場者の見学・体験風景等を電子媒体等で記録した。記録方法は、ビデオカメラやデジタルカメラ等を活用することを想定し、記録したデータを後から見返しができるように、作成したツールごとにデータの整理を行った。

また、来場者が特定できないような撮影方法を考慮し、記録を行った。

■ 目的と対象

見学・体験をしている来場者を対象とし、記録したデータをもとに来場者の評価状況を把握するほか、次回の展示内容や運営方法の改善に役立てることを目的とした。

■ 成果物

6月8日～6月15日の開催期間の全日(午前と午後)において、写真を撮影した。また、6月8日については、動画にて記録を行った。

④ ブース来場者へのアンケート等での調査

■ 調査方法

アンケート調査内容については、コンテンツを見て・体験して、海業の魅力や効果がどのように伝わったのか把握できるような項目や、インバウンドや年齢層、業界などの多様な属性を結果で整理できるように項目を設定した。また、インバウンドに対するアンケートも想定し、「多言語対応ガイドライン」(2023年7月版(日本国際博覧会協会))等に留意をし、英語版でも作成した。日本語版においては法務省で公開している「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」を参照とし、やさしい日本語の自動判断ツールを活用し、総合判定 A となるようにアンケートの設問を作成した。(図 12)。なお、食文化室及び TOPPAN から各ブースで実施するアンケートについて「各ブースに関することに限り 3 問以内」で実施可能と連絡を受けたことから、水産庁と協議の上、アンケート項目を変更した。

(アンケート項目 日本語)

- ・ 設問 1: 楽しかった展示エリアを選んでください
- ・ 設問 2: これまで経験したことのある海業の体験を選んでください
- ・ 設問 3: 興味を持った海業の体験を選んでください

(アンケート項目 英語)

- ・ 設問 1: Please select the exhibit areas you enjoyed
- ・ 設問 2: Please select the UMIGYO you have experienced so far
- ・ 設問 3: Please select the UMIGYO experience that interests you

気軽に答えられるよう、Google フォームにてアンケートを作成し、QR コードを用いてアンケート調査を実施した。また、回答の特典として海業ポスターの画像データを配布した。

アンケート調査結果のとりまとめについては、回答者の属性ごとに分類をし、整理をした。

やさしにちチェッカーVer0.26

シンプル検査

既存文書の挿入

登録できるファイルとは

楽しかった展示エリアを選んでください

診断結果

クリア

診断

やさしにちチェッカーVer0.26

シンプル検査

既存文書の挿入

登録できるファイルとは

これまで経験したことのある海業の体験を選んでください

診断結果

クリア

診断

8語です。

総合判定 A とてもやさしいです

項目

判定

解説

対応

語彙

2

難しいです。

初級語彙が70%以上80%未満です。

漢字

4

適切です。

漢語の量は適切ですが、難しい漢字を含む語が少ないようです。

長さ

5

児童文学レベル

1文あたりの平均単語数が6以内です。

文法

5

とてもやさしいです。

全ての文が20語以内です。

長さ

5

とてもやさしいです。

全ての文が20語以内です。

文法

5

とてもやさしいです。

難しい文法は含まれていません。

シンプル検査

より詳しい診断結果

保存

印刷

16語です。

総合判定 A とてもやさしいです

項目

判定

解説

対応

語彙

3

ふつうです。

初級語彙が80%以上90%未満です。

漢字

3

ふつうです。

漢語の量については普通です。

長さ

5

児童文学レベル

1文あたりの平均単語数が6以内です。

文法

5

とてもやさしいです。

全ての文が20語以内です。

長さ

5

とてもやさしいです。

全ての文が20語以内です。

文法

5

とてもやさしいです。

難しい文法は含まれていません。

シンプル検査

より詳しい診断結果

保存

印刷

やさしにちチェッカーVer0.26

シンプル検査

既存文書の挿入

登録できるファイルとは

興味を持った海業の体験を選んでください

診断結果

クリア

診断

12語です。

総合判定 A とてもやさしいです

項目

判定

解説

対応

語彙

3

ふつうです。

初級語彙が80%以上90%未満です。

漢字

3

ふつうです。

漢語の量については普通です。

長さ

5

児童文学レベル

1文あたりの平均単語数が6以内です。

文法

5

とてもやさしいです。

全ての文が20語以内です。

長さ

5

とてもやさしいです。

全ての文が20語以内です。

文法

5

とてもやさしいです。

難しい文法は含まれていません。

シンプル検査

より詳しい診断結果

保存

印刷

図 12 やさしい日本語の自動判断ツール（やさしにちチェッカー）の判定結果

■ 目的と対象

来場者による展示の評価や海業の認知度を把握することを目的として、アンケートにより調査し、展示内容に関する意見等を整理した。

■ 制作体制

水産庁指導の下、アンケート項目を作成し、Google フォームにてアンケートの作成を行った。なお、各工程の前後に水産庁と制作者サイドで協議をおこない、手戻りのないように進めた。

■ アンケート結果

6月8日～6月15日を通して全59件（日本語55件、英語4件）の回答を回収した。各日の回答結果は表2のとおりである。回答が得られた59件のうち、「設問1：楽しかった展示エリアはなにか」の回答結果は図13、図14のとおり、日本語回答は「パネル：めくるめく魚食マップ」が29件と最も多く、英語回答は「動画：海業紹介動画」が2件と最も多い結果となった。「設問2：経験のある海業の体験はなにか」の回答結果は図15、図16のとおり、日本語回答は「買う・食べる（※漁協直営の直売所、朝市）」が41件と最も多く、英語回答は「泊まる・観光する（※加工場見学、漁村への宿泊体験、漁業体験、マリンレジャー）」が3件と最も多い結果となった。「設問3：興味を持った海業の体験はなにか」の回答結果は図17、図18のとおり、日本語回答は「買う・食べる（※漁協直営の直売所、朝市）」が39件と最も多く、英語回答は「泊まる・観光する（※加工場見学、漁村への宿泊体験、漁業体験、マリンレジャー）」が3件と最も多い結果となった。

また、RELAY THE FOOD 全体で実施した来場者アンケートの回答結果については図19のとおりである。全9,004件の回答が回収された。来場者の年齢層は50代の2,366件、性別は女性の5,109件が最も多い結果となった。立ち寄ったブースでは、日本の食文化が6,444件と最も多い結果となったが、海業は5,493件と2番手であり、来場者の約6割が立ち寄ったと推測される。自由記載欄については、「海業」、「海」を検索ワードとして集計した結果、表3の様なコメントが見られた。

表2 アンケート調査集計結果

		日本語 回答数	英語 回答数	WASSE 内 来場者数
6月8日	日	16	0	9,016
6月9日	月	12	1	9,077
6月10日	火	10	0	8,487
6月11日	水	6	0	11,130
6月12日	木	0	0	12,380
6月13日	金	0	0	13,819
6月14日	土	9	3	14,582
6月15日	日	2	0	15,746
計		55	4	94,237

表3 RELAY THE FOOD 全体来場者アンケート 自由記載欄

検索ワード	コメント
海業	海業という新しい概念に共感しました。また、灌漑施設40万kmから先祖代々の努力の迫力を感じました。
	今の林業、海業、農業などもっと発信して守ってほしいです
	海業の箱メガネ面白かったです
海	海に魚が帰ってくるような行動を、したいです。
	日本は海洋国なので、水産の展示にもっと力を入れて欲しい

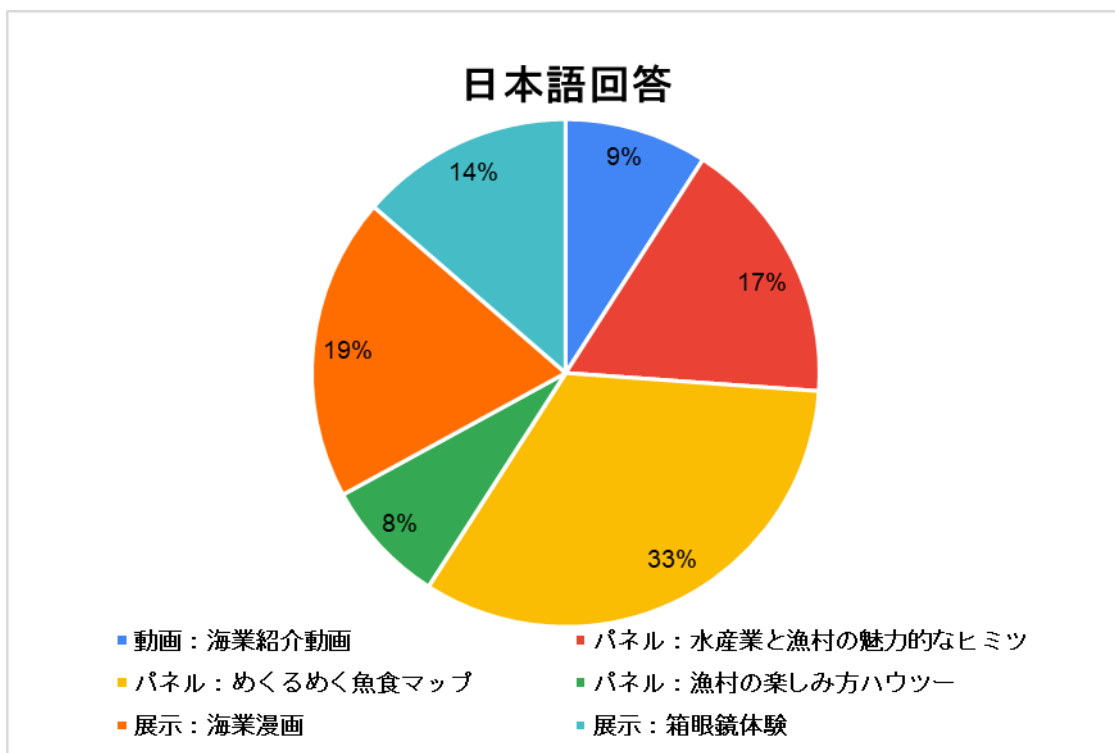


図 13 設問 1：楽しかった展示エリアはなにか 日本語回答

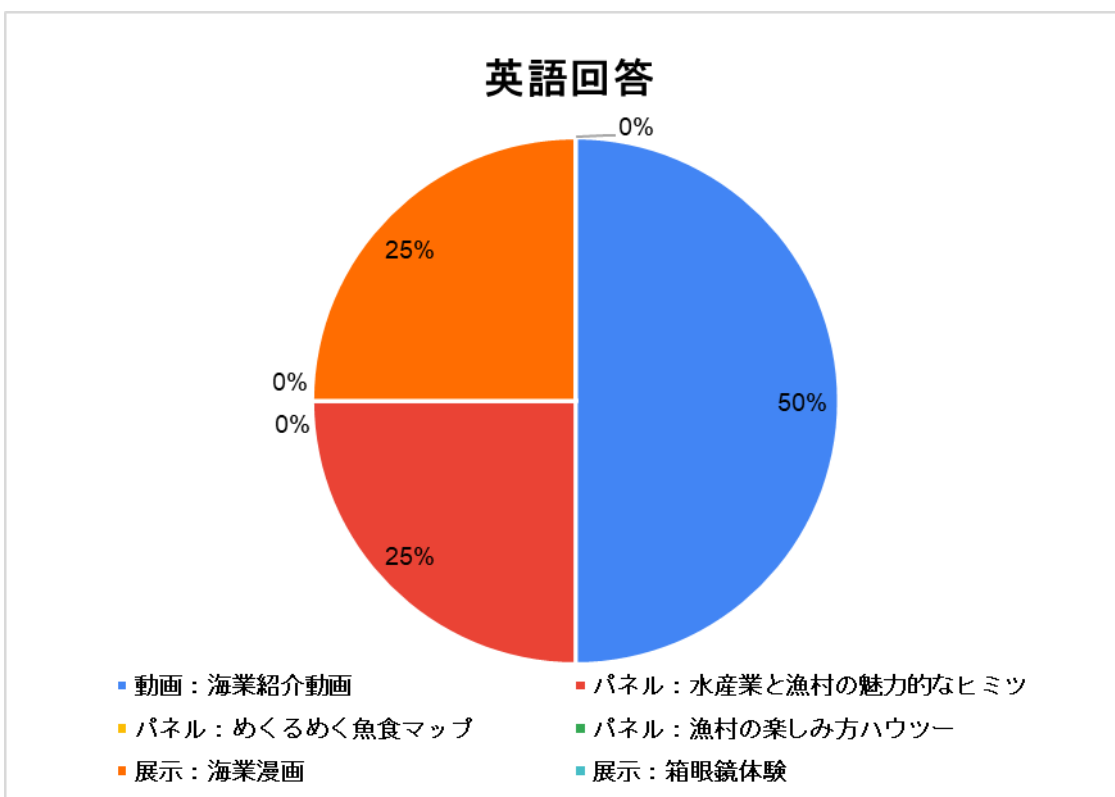


図 14 設問 1：楽しかった展示エリアはなにか 英語回答

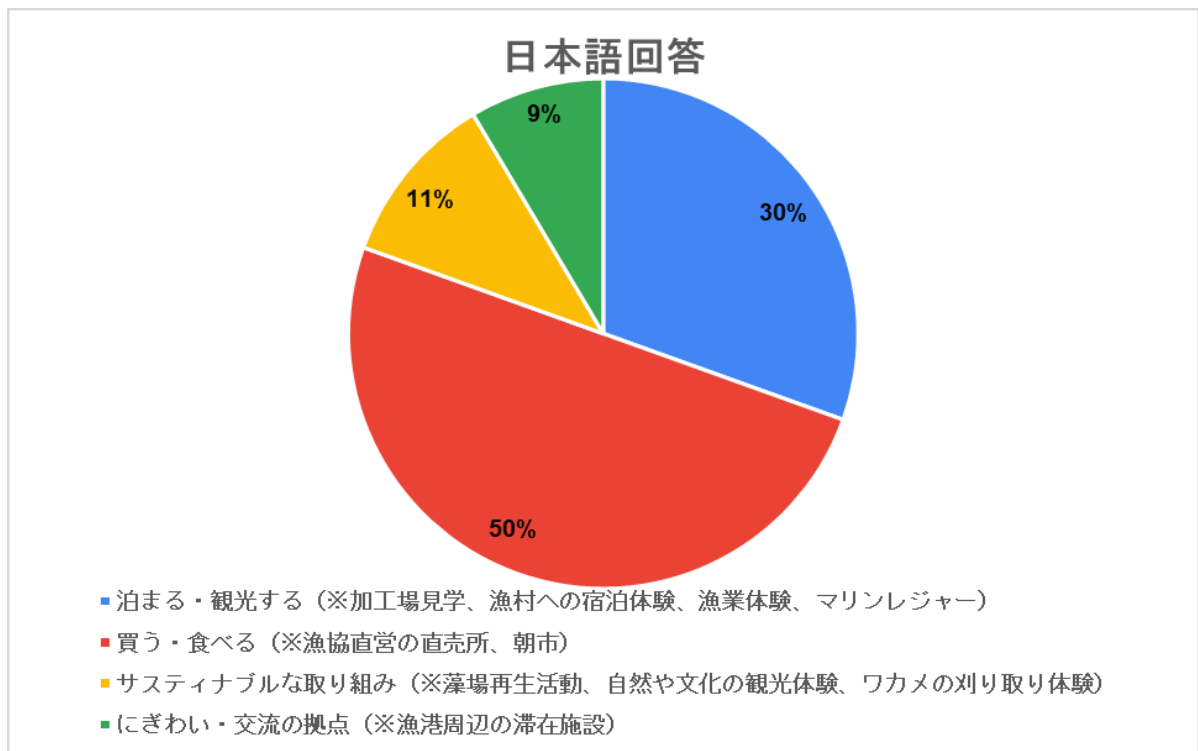


図 15 設問 2：経験のある海業の体験はなにか 日本語回答

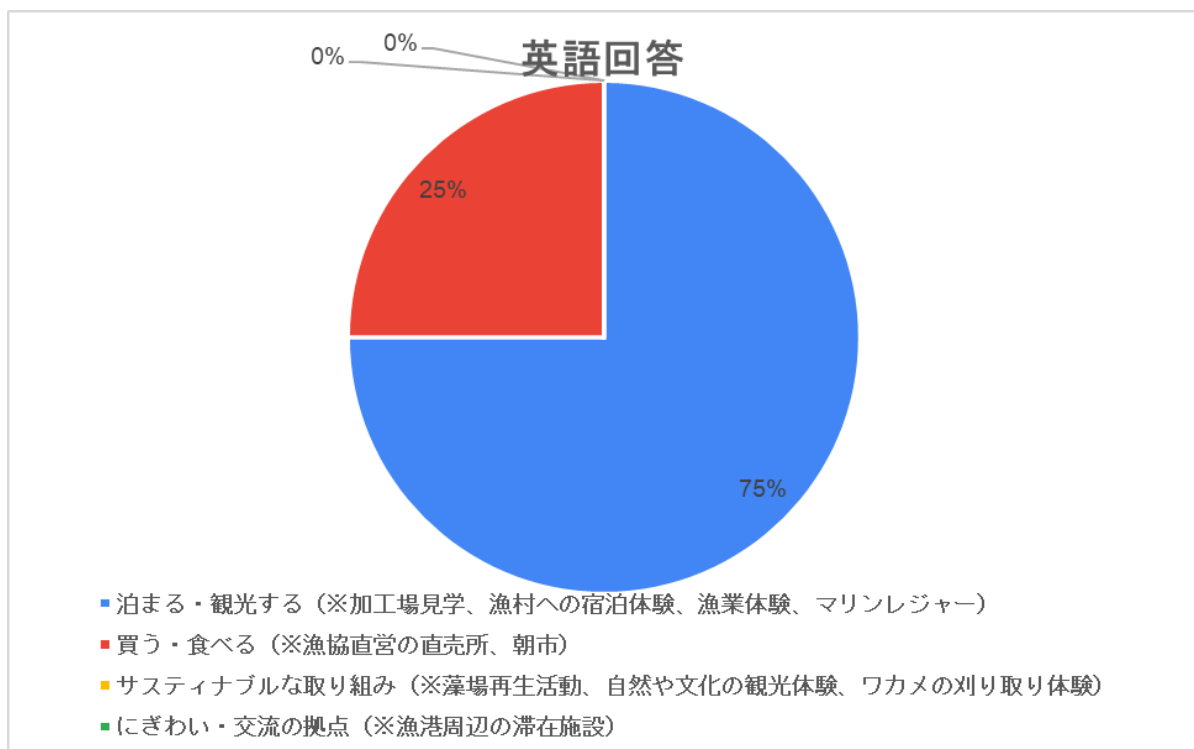


図 16 設問 2：経験のある海業の体験はなにか 英語回答

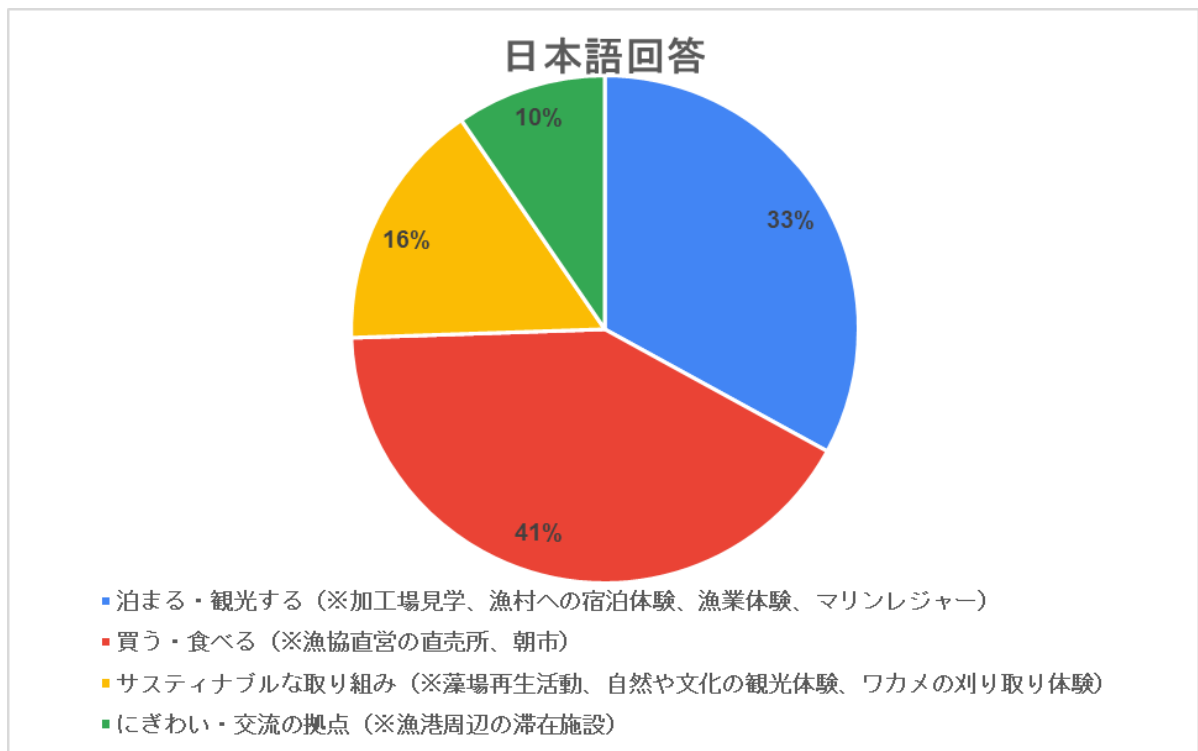


図 17 設問 3：興味を持った海業の体験はなにか 日本語回答

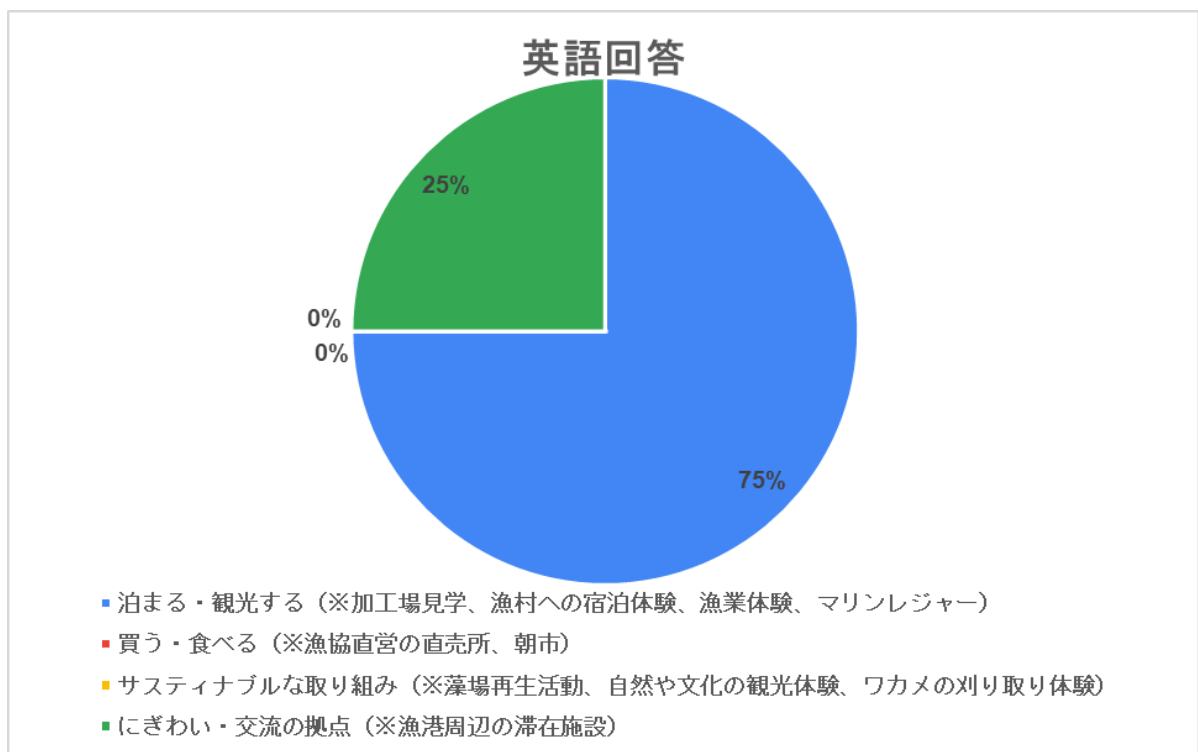
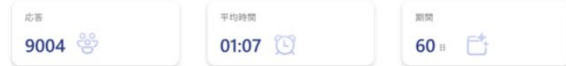
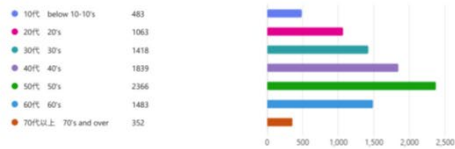


図 18 設問 3：興味を持った海業の体験はなにか 英語回答

応答の概要 **アタチバ**



1. 年齢を教えてください。
What is your age?



2. 性別を教えてください。
Which of the following best represents your sexual orientation?



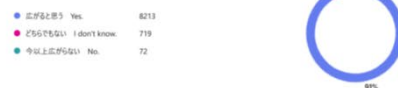
3. 出身国を教えてください。
What is your country of origin?



7. 日本の食に関する理解が深まりましたか？
Did our exhibition help you better understand Japanese food and culture?



8. 日本の食は今以上、海外に広がると思いますか？
Do you think Japanese food has potential to spread more worldwide?



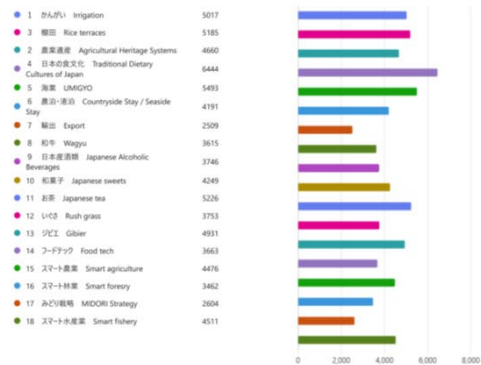
9. 日本の農林水産業の未来に繋がる取組の理解が深まりましたか？
Did our exhibition help you better understand the projects and future commitments for Japan's agriculture, forestry, and fisheries industries?



10. 日本の農林水産業の未来に繋がる取組は地球規模の課題解決に貢献すると思いますか？
Do you think Japan's agriculture, forestry, and fisheries industry will contribute to solving global issues?



4. 立ち寄った展示ブースを全てお選びください。
Please select all the exhibition booths you visited.



5. 日本の農林水産業に根付いた食文化に興味をもちましたか？
Did our exhibition enhance your interest in the food culture rooted in Japan's agriculture, forestry, and fisheries industries?



6. 日本の各地域に実際に行ってみたいになりましたか？
Did our exhibition enhance your interest in visiting different areas or regions of Japan?



図 19 RELAY THE FOOD 全体来場者アンケート結果